

課題別委員会「人口縮小社会における問題解決のための検討委員会」（第1回）
議事要旨

日 時 平成30年8月28日（火）13:00～15:00

会 場 日本学術会議6階 6-A（2）会議室

出席者（敬称略）

【委員】遠藤薫、大西公平、渡辺美代子、石井クンツ昌子、大沢真理、落合恵美子、
武石恵美子、馬奈木俊介、石原理、谷内江望

【事務局】犬塚隆志参事官 ほか

議事

1.自己紹介

出席委員による自己紹介を行った。

2. 委員長の選出と副委員長・幹事の指名

遠藤委員が委員長に選出された。遠藤委員長より、金子委員が副委員長に、石原委員、武石委員が幹事に指名された。

3.本委員会の趣旨説明

本委員会の経緯と趣旨が説明された。特に、少子・高齢化、人口減少という課題に対して、多様な専門領域からアプローチすることにより現状を多角的にとらえ、建設的な提案に結び付けるという趣旨が確認された。

4.これからの委員会活動について

本委員会の趣旨説明を受けて、少子化が進んでいく社会の課題について総合的な議論が必要であること、人口減少について数の観点だけでなく質の観点が重要であること、30-50年後の社会の姿を踏まえた提案が必要であること、子どものQOLといった視点も重要であること、外国人労働や移民政策も検討課題であること、などが指摘された。今後これらの論点を踏まえた上で、（1）人口縮小社会の何が問題か、（2）問題解決の検討、（3）人口縮小社会の問題解決のための総合的政策、について順次議論をしていくこととなった。

本委員会は、第24期（2020年9月まで）中に提言をまとめることとし、それまでに、シンポジウムや日本学術会議の出版物等で対外的な発信を行うことを検討することとなった。今後の委員会においては、各委員がそれぞれの専門領域の観点から課題提起を行いながら議論を進めていくことが確認された。

5.その他

議事要旨の作成は幹事が担当すること、議事要旨に対する委員会の承認はメール審議で行い、最終的に委員長に一任することが了承された。

第二部会から農村の問題も取り上げてほしいとの要望があり、委員会のメンバーが追加される予定であることが報告された。

6.次回の委員会開催について

今回は、「人口縮小社会の何が問題か」をテーマに、金子委員、大沢委員、石原委員が15分程度、他の委員が5分程度のプレゼンを行い、それをもとに議論をすることが了承された。日程は、10月23日または10月30日で事務局が調整することとなった。